

はじめに

皆さんはどんな時に辞典を使いますか。どんな漢字を書くのか分からないとき、意味が分からない名詞や動詞に出合ったとき、国語辞典は大変役に立ちます。「うっかり」と「つい」の違いが知りたいときには、類義語辞典を引けば分かります。しかし、いままでの辞典では引けないこともたくさんあります。たとえば、「せっかく」という語が、「せっかく ... からは」「せっかく ... けれども」などの形で使われたときには、それぞれどのような意味を表すのか、「... にしてからが」「... にしたところで」などが、どのような発想で用いられるのか、「... ともかぎらない」「... わけではない」「... にちがいない」などの形式が文にどのような意味を添えるのか、といったようなことがらは、これまでの辞典では十分な扱いを受けてきませんでした。

この辞典では、文型を文や節の意味・機能・用法にかかわる形式という広い枠組みで捉え、それらが場面や文脈の中でどのように使われるのか分かるように記述することを試みました。これまでの辞典ではなかなか調べられなかったことを調べたいときや、これまでの辞典ではなかなか得られなかった情報を得たいときに、この辞典は威力を発揮します。

この辞典には、『中・上級日本語教科書文型索引』（砂川有里子他編）と国際交流基金・日本語国際教育協会による日本語能力試験1・2級レベルの出題基準サンプル「文法的な機能語の類」に収められた文型のすべてに新聞・雑誌・小説・シナリオなどから集めた文型を加えた3000項目の表現が収録されています。中級レベル以上の日本語学習者に問題となる文型をかなり網羅的に集めることができると言えるでしょう。外国語として日本語を学ぶ人にも分かるように、平明簡潔な表現を心がけたほか、以下のような点に留意しました。

- (1) 用例によって使い方が分かるよう、できるだけ多くの作例を用意した。
- (2) 常用漢字以外の漢字は使用しないよう努め、用例の漢字にはルビをふった。
- (3) 間違いやすい点にも留意してもらうために、必要に応じて解説中に誤用例を提示した。
- (4) 文型の構造・文型の使用場面・類義表現との使い分けなど、日本語学習に役立つことがらをできるかぎり取り上げた。
- (5) 「なんて言ったっけ」の「っけ」や「できっこない」の「っこない」など、

話しことば特有の表現も積極的に取り上げた。

- (6) 調べたい項目を見つけやすくするために、「50音索引」「末尾語逆引き索引」「意味・機能別項目索引」の3種の索引を用意した。

この辞典の構想を立ててから、早くも8年の歳月が過ぎ去りました。気まぐれな編著者たちがこの仕事を成し遂げられたのは、多くの方々の支えと励ましのおかげです。とりわけ、休日返上と残業に明け暮れながらこの仕事に取り組んで下さったくろしお出版の福西敏宏さんがいなければ、この辞典は完成しなかったでしょう。三戸ゆみ子さん、佐藤陽子さんにも大変お世話になりました。阿部二郎さんをはじめとする編集協力者、そして折に触れて相談に乗って下さった友人・同僚たちに心から感謝いたします。

この辞典が、外国語として日本語を学ぶ方々、日本語の教師の皆さん、そして日本語の使い方に興味を持つ方々のお役に立つことを願ってやみません。

1998年2月

編著者一同

編著者：グループ・ジャマシイ

砂川有里子（代表） 駒田聡 下田美津子 鈴木陸 筒井佐代
蓮沼昭子 ベケシュ・アンドレイ 森本順子

編集協力者：

阿部二郎 小野正樹 亀田千里 高木陽子 成瀬真理 守時なぎさ

改訂版 はじめに

『日本語文型辞典 初版』が刊行されてから25年の歳月が過ぎ去りました。

刊行当時は日本語学習者が今より遙かに少なく、大半が初級から中級レベルに留まっていた。初版本のタイトルには「教師と学習者のための」と銘打ってあったのですが、実のところ、日本語だけで作られたこの辞典を学習者が使ってくれるとは思っていませんでした。しかし、刊行してみると、教師だけでなく学習者からも予想外の反響があり、驚きと共に大きな喜びを感じたことを懐かしく思い出します。

これだけ時が経つと、さすがに用例の古さが目立ちます。「ワープロ」や「テープレコーダ」もさることながら、私たちを取り巻く社会は大きく変わり、性別や職業に関する人々のものの考え方も大きく変化しました。用例の刷新はもはや避けられないものとなっていました。

また、初版では中級以上の文型を対象としましたが、初級文型の中にも中級レベル以上の用法を持つものがあることから、それらを新たに加える必要を感じました。そこで、改訂版では用例や解説に可能な限り手を加えるとともに、「...に...がある」などの初級文型を加え、接続詞や副詞の類も増やしました。

今回の改訂に当たっては、くろしお出版の荻原典子さんと市川麻里子さん、フリーランス編集者の福西敏宏さんに大変お世話になりました。予定通りに作業が進められたのは、大量のデータを手際よく整理し、迅速かつ的確に編集を進めて下さった彼らのお陰です。編集協力者の大内薫子さん、斎藤里美さん、関裕子さん、三谷絵理さん、アルバイトの栗田優羽さんにも大変お世話になりました。久しぶりにグループ・ジャマシイのメンバーと仕事ができただけのも楽しい思い出です。

長い時を経て新たに生まれ変わった『日本語文型辞典』が、みなさまのお役に立つことを心から願っています。

この辞典の改訂作業が終盤にさしかかった頃、グループ・ジャマシイの駒田聡さんが病に倒れ、闘病の甲斐なく亡くなりました。駒田さんは入院直前まで精力的に改訂作業に取り組んでくださいました。駒田さんの功績を称え、万感の思いと共に、『日本語文型辞典改訂版』を駒田さんの御霊前に捧げます。

2023年5月
砂川有里子

凡例

この辞典の構成と使い方

- 1 見出しは「大見出し」「中見出し」「小見出し」の三つからなっています。下の例に示すように、中見出しには「1, 2, 3」、小見出しには「a, b, c」の記号が付いています。
- 2 中見出しや小見出しに同形のものがあるときは、< >で区別を示します。例えば、「① うち<範囲>」は「② うち<時間>」と区別するために< >が付されています。
- 3 文法的な情報は、中見出しと小見出しに記号を用いて示しました。見出しに文法記号を使うと煩雑になりすぎる場合は、[]内に示してあります。

大見出し	【うち】
中見出し	① うち<範囲>
小見出し	a Nのうち
例文	(1) この三曲のうちでどれが一番気に入りましたか？ (2) 三つのうちから好きなものを選びなさい。 (3) バッハとモーツァルトとベートーベンのうちで、一番人気があるのは、モーツァルトだそうだ。 (4) 昨日買ったCDのうち、2枚はインドネシアのポップスで、3枚はカリブの音楽だ。
解説	範囲を限定するのに用いる。(1)～(3)のように、その範囲の中から何かを選ぶことを表す場合には「Nのなか」に言い換えられる。また、(3)のように、複数の名詞を並べて「N1とN2と...のうち」と言う場合もある。
文法情報	b ...うちにはいない [Nのうちにはいない] [A-うちにはいない] [Vうちにはいない]

【あいだ】N4

① Nのあいだ

a Nのあいだ <空間>

- (1) ベッドと本棚の間にテレビを置いた。
- (2) 古本を買ったら、ページの間に1万円札がはさまっていた。
- (3) 大阪までの間のどこかで駅弁を買って食べよう。

二つの場所・物に挟まれた空間を表す。場所と場所、あるいは物と物に挟まれたものを示す場合は(1)のように「NとNのあいだ」を使う。

b Nのあいだ <関係>

- (1) 最近二人の間はうまくいっていないようだ。
- (2) そのホテルは安くして清潔なので、旅行者たちの間では人気がある。
- (3) 二つの事件の間にはなにか関係があるらしい。

「複数の人やことがらの関係の中で」という意味を表す。そこでの状態や動作、そこで起こる出来事などを述べるのに用いる。

② あいだ

[Nのあいだ]

[Naなあいだ]

[A-いあいだ]

[V-ている/V-る あいだ]

a ...あいだ

- (1) 彼は会議の間ずっといねむりをしていた。
- (2) 彼女が戻ってくるまでの間、喫茶店で本を読むことにした。
- (3) 子供が小さい間は、いろいろと大変だ。
- (4) 一生懸命泳いでいる間はいやなことも忘れてしまう。

- (5) 友子は、田舎に住んでいる間は元気だったが、都会に引っ越したとたんに体をこわしてしまった。
- (6) 私たちがお茶の用意をする間、彼らは緊張して一言もしゃべらずに座っていた。
- (7) 両親は、自分たちが元気な間は故郷の家で暮らしたいと言っています。

ある状態・動作が続いている期間を表す。後にはその期間中継続する状態や並行して起こっている動作を表す文が続く。後の文の述語は、動作を表す動詞の場合は「V-ている・V-つづける」など継続の意味を表す形になる。

(誤) 私が勉強している間、弟は遊んだ。

(正) 私が勉強している間、弟は遊んでいた。

過去のことに言う場合は「V-ていた/A-かったあいだ」の形も用いられる。

(例) 彼はドイツに留学していた間、スウェーデン人の女の子と一緒に生活していたらしい。

b ...あいだに

- (1) 留守の間にどろぼうが入った。
- (2) 4時から5時までの間に一度電話をください。
- (3) 祖母が元気な間にいろいろ話を聞いておこう。
- (4) 朝の涼しい間に勉強しておこう。
- (5) 家族がまだ寝ている間に叫びかけた。
- (6) カナダの友達が日本にきている間に一緒に旅行したかったのだが、残念ならできなかった。
- (7) 私がてんぷらを揚げている間に、母は他のおかずを全部作ってしまった。

ある状態・動作が続いている期間を表す。後にはその期間内に行われる動作、起こる事態などを表す文が続く。後の文の述語は動詞で、「...する...しはじめる...になる」など、継続を表さ

ない形になる。

(誤) 授業の間にずっとおしゃべりをしていた。

(正) 授業の間に3回質問をした。

過去のことを言う場合は「...たあいだに」の形も用いられる。また(7)のように、前と後ろの動作主が異なる場合は、二人が同時に並行して動作を行うという意味になる。

【あいにく】N2N3

① あいにく

- (1) 宅配便が届いたとき、あいにく誰も家にいなかった。
- (2) 急いで行こうと車に乗ったが、あいにく渋滞で、2時間もかかってしまった。
- (3) 同級生が見舞いにきてくれたが、あいにく、息子は眠っていた。
- (4) お客様、あいにく、満席でございまして。
- (5) A：3日に飲み会があるんですが、ご都合いかがですか？
B：すみません。あいにくですが、その日は用事があるんですよ。

「運悪く」に近い意味で使う。「あいにく」のあとには、もう起こってしまったことや、現在の状態、確実な予定などを述べることが多い。

会話では、(4)(5)のように、謝罪したり、断りを述べる時、「あいにく(あいにくですが)+理由の説明」という形で用いられることが多く、「期待に応えられなくて残念だ」という気持ちを示す。

「あいにく」は、「運悪く」に似ているが、「運悪く」と違って、深刻な事態の記述に力点があるときには用いにくい。

(正) 旅行中、運悪く交通事故に巻き込まれ、亡くなってしまった。

(誤) 旅行中、あいにく交通事故に巻き込ま

れ、亡くなってしまった。

上の例で、「亡くなる」という深刻な事態の場合は「あいにく」が不自然だが、「あいにく交通事故にあって、約束の時間に間にあわなかった」のように、軽い出来事として扱い、いわげにするような場合は自然である。

② あいにくのN

- (1) 本日は、あいにくの雨ではございましたが、皆様のおかげをもちまして、意義深い会とすることができました。
- (2) マラソンの当日は、あいにくの天気だったが、ほとんどの選手が、最後まで走り通した。
- (3) あいにくの渋滞で、目的地まで5時間もかかってしまった。
- (4) 彼女は、エントリーしたものの、あいにくのひざの故障で、競技はあきらめなければならなかった。

「不都合な・ありがたくない」の意。Nには「雨・風」などの悪天候を表す名詞や、「渋滞・事故」など不都合な出来事を表す名詞が用いられる。「あいにくのNで」は「不都合なNのために」、「あいにくのNだが」は「都合の悪いNだったが」という意味で使う。

③ おあいにくさま

- (1) A：このつぎの日曜日のバイト、代わってられない？
B：おあいにくさま。その日は先約があるの。
- (2) A：仕事が終わったら飲みに行かない？
B：おあいにくさま。今晚から出張です。

比較的くだけた会話に用い、相手の期待にそえなくて残念だという気持ちを表す。現在では、誘いを断るときなどに用い、相手をからかったり、皮肉っぽく応じたりする態度が含まれるこ

とが多い。

【あいまって】

→【とあいまって】

【あう】

① V_R-あう <意志的な動作・感情>

- (1) 帰国する友人と抱き合っ**て**別れを惜しんだ。
- (2) みんなでお金を出し合っ**て**先輩へのプレゼントを買うことにした。
- (3) 困った時には、お互い助け合**う**ね。
- (4) 旅先でおもしろい人**と**知り合**った**。
- (5) 夏休みの旅行の行き先について、家族で話し合**った**。
- (6) 二人は心から愛し合**っ**ている。
- (7) 二人は激しく言**い**合**い**をしていたが、そのうち殴り合**い**のけんかになってしまった。

意志的な行為を表す動詞に付いて、複数の人がお互いに同じ動作をしたり同じ感情を抱いたりすることを表す。(5)の「話し合**う**」は「お互いに話す」ではなく「意見を出し合**って**相談する」の意味。動詞によっては、(7)のように「V_R-あ**い**」の形で名詞として使われることもある。

② V_R-あう <状態>

- (1) 電車は大勢の観光客で混**み**合**っ**ていた。
- (2) この問題は双方の利害が絡**み**合**っ**ていて、簡単には解決でき**さ**う**な**い。
- (3) この街は、古い文化と新**し**い文化が混ざり合**っ**て、街の魅力を生**み**出**し**ている。
- (4) 小さなミスがいくつ**も**重**な**り合**っ**て、重大な事故**に**つ**な**が**っ**てしまった。

- (5) 二人は出**会**っ**て**一目でひかれ合**い**、恋に落**ち**た。
- (6) 猛暑のため、電力の需**要**と供**給**が釣**り**合**わ**ない事**態**とな**っ**ている。

複数の事柄が相互に関係して、ある状態になることを表す。(6)の「釣り合**わ**ない」は「バランスが取**れ**て**い**ない」という意味。

【あえて】N1

① あえて

- (1) 私はあ**え**てみなさんに規則**の**見直**し**を提**案**したいと思**い**ます。
- (2) 誰も助**け**てく**れ**ないか**も**し**れ**ないが、それでもあ**え**てこの計**画**は**実**行に移**し**たいと思**う**。
- (3) 恥**の**忍**ん**であ**え**てお聞**き**しますが、今のお話**の**ポイ**ン**トは**何**だ**っ**たのでし**よ**うか。
- (4) 反**感**を**買**うの**を**承**知**であ**え**て言**い**たいのは、彼ら**に**この**仕**事**を**任**せ**るの**は**リ**ス**クが**大**き**い**とい**う**こと**だ**。
- (5) これ**が**できる**の**は**あ**なた**し**か**い**ませ**ん**。大**変**な**こ**と**は**わ**か**つ**て**いる**の**です**が**、あ**え**てお願**い**したい**の**です。

「言う・提案する・お願**い**する」などの発言を表す動詞や「やる・実**行**する」などの動詞を伴**っ**て、「そうすることは他の人の反**感**を**買**つたり困難や危**険**を伴**っ**たりする**が**、それでも自分**は**そうしたい／そうするべき**だ**」という意味を表**す**。自分の意見を強**く**述**べ**たり自分の考**え**を打**ち**出**し**たりするの**に**用**い**られる。

② あえてV-ば

- (1) 反**対**される**の**を承**知**であ**え**て言**え**ば、こんな計**画**は百**害**あ**っ**て一**利**な**し**だ。
- (2) 少**々**言**い**にくい**こ**と**な**の**で**す**が**、あ**え**て言**わ**せて**い**た**だ**ければ、あなた

50 音順索引

あ

あいだ	1
あいだに	1
あいにく	2
あいにくの...	2
あいまって →とあいまって	
あう	3
あえて	3
あえて...ない	4
あえて...ば	3
あがる	4
あくまで	5
あくまで(も)	5
あげく	5
あげくのはてに(は)	6
あげる	6
あたかも	6
あつての	7
あと	7, 8
あとから	8
あと+数量詞	8
あとで	9
あと(で/に)	8
あとは...だけ	9
あまり	9
あまり/あんまり	9
あまり/あんまり ...ない	9
あまり(に)	10
あまりに(も)/あんまり(にも)	9
あまりに(も)/あんまり(にも) ...と	10
あまりの... に/で	10
あらためる	11
ある	11, →である
あるいは	12
あるいは...あるいは	13
あるいは...かもしれない	13
あるのみだ	418
あるまじき...だ	13

あれで	13, 14
あれでも	14
あんまり →あまり	

い

いい	14
いい から/よ	14
いう	15
いうまでもない	17
いうまでもないことだが	18
いうまでもなく	18
いか	18, 19
いがい	19
いがい...ない	19
いか+数量詞	18
いかに	18
いかなる	19
いかなる...(+助詞)も	19
いかなる...でも	19
いかなる...とも	20
いかに	20
いかに...か	20
いかに...ても	20
いかに...といっても	20
いかに...とはいえ	20
いかにも	21
いかにも...そうだ	21
いかにも...らしい	21
いかにも ...らしい/...そうだ	21
いかに...ようと(も)	21
いかに	22
いかに...で/によって(は)	22
いく →ていく	
いくら	22
いくら...からといって(も)	23
いくら...からといっても	24
いくら...たところで	24
いくら...ても	23, 244
いくらでも	23

いくら...でも	23
いくら ...でも/...くても	23
いくら...といても	23
いくらなんでも	24
いくらも...ない	23
いけない →てはいけない ¹ , てはいけない ² , なくては②, なければ②	
いご	24, 25
いささか	25
いささかも...ない	25
いざしらず	25
いざとなったら	308
いざとなると	309
いざとなれば	310
いじょう	25, 27
いじょうに	26
いじょうの...	25
いじょう(の)+ 数量詞/...	27
いじょう の/に	25
いじょう(は)	27
いずれ	28
いずれにしても	28
いずれにしろ	28
いずれにせよ	28
いずれも	28
いぜん	29
いただく	29
いたって →にいたる③	
いたっては →にいたる④	
いたっても →にいたる⑤	
いたり	30
いたる →にいたる	
いちおう	30
いちおう...	30
いちおう...ておく	31
いちがいに(は)...ない	31
いちど	31
いちど ...と/...たら	31
いちど ...ば/...たら	31

末尾語逆引き索引

ある

ある	11
かいがある	59
きらいがある	86
ふしがある	445
で...がある	12
る／...ない ことがある	102
たことがある	101
に...がある	11
は...にある	11
ものがある	511
(に)は...がある	11
かぎりがあ	61
みこみがある	483
にはむりがある	492
おそれがある	49
まだ...ある	472
つつある	206
である	215
のは...ゆえである	525
のである	414
ひとつには...ためである	183
は...にある	11
だけのことはある	174
さすがに...	
だけのことはある	115
ばあいもある	427
むきもある	489
でもあり、でもある	248
もあれば...もある	499
もあり...もある	498
からある	77
数量詞+からある	77

いい

いい	14
もういい	502
がいい	15
ほうがいい	454

る(の)なら...がいい	350
もう ...だ／いい	501
ていい	216
それはそれでいい	159
といい	263
といい...といい	264
ないといい	328
だといい	179
るといい	263
ばいい	429, 430
てもいい	248, 249
なくてもいい	335
疑問詞+てもいい	250
からいい	78
たらいい	190
ならいい	354

いう

いう	15
なんとかいう	367
とかなんとかいう	368
という	15, 16, 264
を...という	16
(のこと)を...という	17
は／を ...という	16
なんという	366
る／...ない ようにいう	16
る／...ない	
よう(に)いう	536
とでもいう	306
からいう	78
をいう	16

いる

いる	39
に...がいる	39
(に)は...がいる	40

ている	219, 220, 221
ないでいる	325
ようやく...ている	538
そうにしている	147
ことにしている	106
をしている	220
といっている	16
ことになっている	107
にきまっている	379
とおもっている	281
かろうじて...ている	84
やっと...ている	519
ともくされている	317
とされている	297
とかがえられている	286
もの	
かんがえられている	286
といわれている	16
ずにいる	134
は...にいる	39
てばかりいる	432

か

か	54
いか	18, 19
数量詞+いか	18
せいか	140
ないか	321
て もらえるか	
／もらえないか	254
てやって もらえるか	
／もらえないか	254
か...ないか	55
ではないか	237, 238
(の)ではないか	239
ようではないか	238
じゃないか	127, 128
ようじゃないか	529

意味・機能別項目索引

意志・意向

あくまで(も).....	5
なにがなんでも.....	344
まい.....	463
まいとする.....	464
よう.....	526
ようか.....	527
ようか...まいか.....	528
ようとおもう.....	530
ようとする.....	530
ようと(も/は)しない.....	530
る/...ない つもりだ.....	209
る/...ない ようにする.....	536

位置関係

あと.....	7
ごし.....	98
じゅう.....	128
にむかって.....	399
にめんして.....	399
のあいだ.....	1
のまえに.....	465
をまえに(して).....	466

依頼・命令

お..ねがう.....	46
がほしいんですが.....	459
させてください.....	117
させてほしい(んだけれど).....	459
せられたい.....	144
てください.....	222
くださる.....	223
てくれ.....	224
てくれない(か).....	321
てくれないか/もらえないか.....	465
てくれるか/くれないか.....	225
てちょうだい.....	230
てほしい(んだけれど).....	459

て もらえるか/もらえないか.....	254
な.....	320
ない(か).....	321
ないか.....	321
なさい.....	338
べし.....	450
もらおう/いただく.....	526
もらおうか/てもらおうか.....	528
る/...ない こと.....	100
る/...ない ことだ.....	103
る/...ない の.....	408
るのだ.....	411
るんじゃない.....	565
るんだ.....	566
ろ.....	549
をください.....	89

受け身・使役・抵抗不可

が... に/から ...られる.....	546
が...に(よって)...られる.....	545
が...に...を...られる.....	546, 547
が...られる.....	545
させてあげる.....	117
させて もらう/くれる.....	117
させられる.....	117
させる.....	116
ざるをえない.....	120
ずにはいられない.....	135
ずにはおかない.....	135
ずにはすまない.....	135
ないではいられない.....	326
ないわけに(は)いかない.....	556
よりない.....	543
をきんじえない.....	560
をよぎなくさせる.....	564
をよぎなくされる.....	564

開始・終了・完了

あがる.....	4
----------	---

あげる.....	6
おえる.....	47
おわる.....	54
かける.....	64
きる.....	86
だす.....	175
ついに.....	203
ていない.....	221
ている.....	221
てしまう.....	227
てしまっていた.....	228
とうとう.....	278
とおす.....	281
ぬく.....	406
はじめる.....	437
まだ.....	471
もう.....	501
やっと.....	518
やむ.....	523
ようとする.....	530
ようやく.....	537

可能・不可能・可能性

うる.....	44
がたい.....	65
かねない.....	72
かねる.....	73
ことができる.....	102
そうだ.....	148
そう も/に ない.....	148
っこない.....	204
てもいい.....	249
とても...ない.....	306
にかたくない.....	378
にくい.....	380
ばあいもある.....	427
はずがない.....	438
ひとつ...ない.....	442
ようにも...ない.....	400
ようにも...れない.....	400